

行政報告（平成26年9月定例会）

町長から行政運営について報告がありました。

<p>企画課</p>	<p>「足柄上首長懇談会」と「3市3町広域行政推進協議会 県要望」</p>	<p>7月に「足柄上首長懇談会」が開催され、中井町からは、県西地域活性化を目指した散策路整備と、比奈窪バイパス整備に伴う役場周辺地区の土地利用、の2点について県へ要望いたしました。県からは、散策路整備については、「未病を治すにつながる有効な政策である」と前向きの評価をいただいております。また、役場周辺地区の土地利用については、「都市計画制度のあらゆる手法を用いて知恵を絞って支援をしていきたい」との回答をいただいていることから、県や関係機関などとの連携を図りながら、早期実現に向けて取り組んでまいります。</p> <p>次に、平塚市・秦野市・伊勢原市・大磯町・二宮町・中井町で構成する「3市3町広域行政推進協議会」において、平成27年度の県予算・施策に対する要望活動として、8月27日に黒川副知事を訪問し、42項目から成る広域的な諸課題に対する要望を行いました。新規要望事項のうち「県道77号（平塚松田）の新たなバイパス道路網整備について」は、中井町にとって早期実現が望まれることから、特段の配慮をお願いいたしました。</p>
<p>総務課</p>	<p>「土砂災害防災訓練」及び「総合防災訓練」</p>	<p>6月8日に境地区を対象地域として、本町としては初めて土砂災害防災訓練を実施いたしました。訓練は、土砂災害ハザードマップを利用した危険個所の確認、避難訓練、防災講習会などを消防団、小田原市消防本部、神奈川県に参加いただき実施いたしました。居住地周辺の災害リスク情報を知っていただくことは、避難行動において非常に重要であることから、今後も継続して実施していきたいと考えています。</p> <p>また、8月31日に宮向、宮前、宮上の各自主防災会を重点地区として、避難訓練、初期消火訓練、救護訓練、避難行動要支援者安否確認訓練などを消防団、神奈川県に参加いただき、井ノ口小学校を主会場に総合防災訓練を実施いたしました。重点地区以外では各自主防災会により主体的な防災訓練が実施され、町全体では約2100名の方が総合防災訓練に参加され、防災意識の高揚を図ることができました。</p>
<p>福祉課</p>	<p>「臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金」</p>	<p>本年4月から消費税が引き上げられたことに伴い、所得の低い方や子育て世帯の負担を緩和するため、臨時的な給付措置として臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金の支給の準備を進めており、11月4日まで申請受付を行い、申請内容を確認したのち、指定口座に振り込みを予定しております。</p>
<p>まち整備課</p>	<p>「南部メガソーラー事業の進捗状況」と「町発注の工事等」</p>	<p>南部メガソーラー事業は、造成工事の8割にあたる15haで面整備が完了し、林地開発の確認検査が終了した4haにおいて、総パネル数の25%にあたる1万枚のパネルが設置され、また、メガソーラー事業地内の駐車場敷地に設ける便益施設の設計業務及び給水設備に必要な水道布設工事を発注しました。また、五分一集落センターを自治会へ移管するための改修工事、そして災害時の避難場所となっている中井中央公園へのハイブリット照明の設置工事、さらに、テルモの南側にあたる関ノ上地区12haの地籍調査業務を発注しました。</p>

上下水道課	下水道事業	<p>下水道事業の整備率は、全体計画面積の約78.5%が整備済みで、市街化区域内の整備は、ほぼ完了し、調整区域の整備を進めているところです。今後の井ノ口地区における整備予定箇所は、葛川自治会及び北窪・下井ノ口・五分一地区の一部を整備予定で、今年度においては、葛川自治会の下水道の供用開始むけ、井ノ口汚水枝線1工区及び2工区を発注いたしました。</p>
教育課	「青少年育成のつどい」	<p>2年ぶりの開催となりました「青少年育成のつどい」は、7月13日農村環境改善センターで、中井中学校吹奏楽部の演奏に引き続き、講師に「世界がもし100人の村だったら」の著者、池田香代子氏を招き、「100人の村あなたもここに生きています」をテーマに、ネパールの小さな村で、子どもたちと関わってきた体験を基に、命の尊さについて講演をいただき、有意義な講演会となりました。</p>